

公開情報

－硬膜外麻酔無痛（和痛）分娩について－

当院は、陣痛の痛みをなくすことを目指す「無痛」ではなく、産婦さんが耐えられる範囲まで痛みを緩和する「和痛」を目標とし、以下の方針で行っております。麻酔の効果には個人差がありその効果が十分でない場合があります。また、時間帯などにより麻酔開始を待っていただく、あるいは実施を見合わせる、などご希望に添えない場合があります。

「硬膜外麻酔和痛分娩」の方針：

初めての分娩：原則、自然に分娩（陣痛）が始まるのを待ちます。陣痛が開始したら、産婦さんの様子を観察し、産婦さんと相談します。陣痛がある程度レベルまで強くなり痛みの緩和を希望された時点で硬膜外麻酔を導入します。

2回目以降の出産：原則は、上記の初めての分娩の場合と同様の方針としますが、これまでの分娩の経験などから早い段階からの硬膜外麻酔を希望される場合は、計画分娩の上、分娩の序盤から硬膜外麻酔を開始する場合があります。

費用：

通常の分娩費用に加え以下の硬膜外麻酔費用が必要です。具体的な費用については説明文に記載しております。効果にご満足いただけなかった場合も所定の費用はご負担いただきます。ただし、硬膜外チューブ留置不成功など硬膜外麻酔が導入できなかった場合では費用はいただきません。

硬膜外麻酔和痛分娩のできない方：

- ① 出血傾向を有する方（抗凝固療法中のものを含む）
- ② 肥満の方
- ③ 脊椎疾患・変形、あるいは脊髄疾患を有する方
- ④ 硬膜外麻酔チューブ挿入のための体位がとれない方
- ⑤ 気管内挿管困難が予想される方
- ⑥ 局所麻酔薬に対するアレルギー歴を有する方
- ⑦ 硬膜外麻酔中の絶食が守れない方
- ⑧ 硬膜外麻酔和痛分娩に対する理解が十分でない方

無痛分娩麻酔管理者：

廣瀬雅哉（院長、J-MELS ベーシックコースインストラクター、無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（JALA）WEB 講習会カテゴリーA・B・D、ICLS 受講済）

マニュアル・研修等の整備状況：

硬膜外麻酔和痛等の説明書・同意書、硬膜外麻酔無痛分娩マニュアル、硬膜外麻酔無痛分娩看護マニュアル、無痛分娩急変時対応マニュアルを策定しその内容を産婦人科医師、産科病棟助産師・看

護師全員に周知徹底する。実施に際しては、硬膜外麻酔無痛分娩マニュアル、硬膜外麻酔無痛分娩看護マニュアルを遵守する。

母体救命講習会（J-CIMELS）、新生児蘇生法講習会（NCPR）を開催し、産婦人科医師、助産師、看護師の受講を推進する。分娩を取り扱う助産師全員が無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（JALA）WEB講習会カテゴリーDを受講している。

事故発生時の対応：

関連するインシデントについては速やかに院内医療完全委員会に報告する。重大インシデントについては、滋賀県産婦人科医会、日本産婦人科医会に報告する。死亡事例については日本産婦人科医会、滋賀県医師会に報告するとともに、医療事故調査・支援センターへの報告と医療事故調査委員会の開催を検討する。

関連サイト：

無痛分娩関係学会団体連絡協議会（JALA） <https://www.jalasite.org/>